



妙高 三田原山

2010年2月14日(日)

志満(L)、野澤 菊地、安藤(記録)

山友会に入会して、初めての山スキーである。コースは、杉ノ原スキー場トップ～三田原山～池ノ峰～杉ノ原スキー場で、以前3月に滑ったことがある。

2月13日(土) くもり

8:30 野澤さんの車で、小雪の降る津久井・志満宅を出発する。中央道に入るとすぐ雪は止み、星空が見える。11:30 今夜の宿泊地・信濃町道の駅に着く。除雪の雪で回りは雪壁、その上にやわらかな新雪が積もっている。星空と新雪、良い条件が揃い、明日の山行を楽しみにして就寝する。

2月14日(日) 晴れ

7:00 道の駅を出発し、30分程で杉ノ原スキー場に着く。大きな第1駐車場はまだガラガラだ。スキー場トップへは、杉ノ原 Gondola と三田原第3高速リフトに乗って行くが、高速リフトの運転開始は9:15なので、仕度をする時間はたっぷりある。

9:30 ビーコンのチェックを行い、スキー場トップを出発する。すでにしっかり付いたトレースに従い、沢を渡り、急な斜面を斜め上に慎重にトラバースし、少し斜度が緩んだところから、ジグザグに登行する。

11:00 稜線に着く。妙高山とその外輪山の景色が目に入る。何度見ても素晴らしい。また、黒姫山、戸隠連峰、高妻山、乙妻山、後ろの白馬連峰、右に噴煙の上がる焼山、火打山なども見える。

下るには少し早いので、三田原山山頂に向かう。途中で、雪庇の重みでできた隠れたクラックに、志満さんと私が足を捕られる。もっと樹林よりか樹林の中を歩くように注意しなければいけない。

風が強く、手袋の中の指先が寒さで痛い。山頂まで行きたい人もいないので、山頂手前の2347mのピークで下る準備をする。予定していたコースはすでに多くの人が下っており、荒れている。予定を変更し、涸沢の左岸、途中から右岸に移り、なるべくスキー場に近い林道に出るコースとなる。

12:00 新雪20cm、傾斜は25度ぐらい、樹林がほとんどなく、トレースもない斜面が広がっている。今シーズン、初めての新雪滑降、気持ち良く滑り、嬉しくなる。ほかの皆さんも嬉しそうに滑っている。写真撮影をしながらどんどん下って行く。

右岸に移り、しばらく下ると、雪が重くなり滑り難くなる。そして細かい樹林をトラバースぎみに下って行く。私は、重めの雪と細かい樹林を抜けるので疲れてしまう。ほかの皆さんはうまく滑っていく。14:30 スキー場まで4km地点の林道にでる。林道は緩い登りもあり、滑ることができず、シールを付けての歩きとなる。スキー場手前1kmの地点からやっと滑れるようになる。ゲレンデに入ると楽になるかと思ったが、圧雪された硬い雪は、疲れた足ではエッジも効かせ難く、バテバテの状態で、杉ノ原第1ロマンズリフトの乗車口に着く。

16:00 杉ノ原第1ロマンズリフトに乗り、第1駐車場に着く。日帰り温泉「妙高の森」で汗を流し、22:00 本厚木に到着する。

このコースは、1時間半の登りで、素晴らしい景色と標高差1000mを滑ることができるのがよいと思う。

